

第7号様式 技術提案書評価表

タブレットを利用したきずな再生・強化事業（開発・コミュニケーション系）

提案書の目次												
項番	大項目	項番	中項目	項番	小項目	評価区分	小計	基礎点	加点	評価基準	提案書頁番号	
		3.1	開発計画全般			必須	5	5		・開発の全体計画について具体的な手法、プロセスが明確に記載されていること。 明確に記載されている・・・5点 記載がない・・・0点		
		3.2	プロジェクト管理			任意	40	-	20	・プロジェクト管理のための手法が妥当か。 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されている、かつ、品質低下、進捗遅延リスク回避やユーザビリティ向上の策があり実効性も十分にみとめられる・・・20点 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されている、かつ、品質低下、進捗遅延リスク回避やユーザビリティ向上のための策あるが、実効性が認められない・・・10点 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されているが、品質低下、進捗遅延リスク回避やユーザビリティ向上のための策がない・・・5点 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されていない・・・0点		
								-	10	・役場側とのコミュニケーションの計画が盛り込まれているか。 他社提案と比較し、最も工数が多い・・・10点 他社提案より比較的工数が多い・・・5点 他社提案より比較的工数が少ない・・・3点 他社と比較して最も工数が少ない・・・0点		
								-	10	・開発場所は集約されているか。 利用するアーキテクチャの選定の客観的根拠が明示されている、かつ、そのアーキテクチャでの開発実績がある・・・10点 利用するアーキテクチャの選定理由が明確であるが、そのアーキテクチャを利用した開発実績がない・・・3点 利用するアーキテクチャの選定理由が明確でない・・・0点		
		3.3	設計・開発計画			任意	40	-	20	・設計、開発のための開発手法、開発プロセスが妥当か。 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されている、かつ、品質低下、進捗遅延リスク回避やユーザビリティ向上の策があり実効性も十分にみとめられる・・・20点 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されている、かつ、品質低下、進捗遅延リスク回避やユーザビリティ向上のための策あるが、実効性が認められない・・・10点 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されているが、品質低下、進捗遅延リスク回避やユーザビリティ向上のための策がない・・・5点 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されていない・・・0点		
								10	・設計、開発に充てられている工数が比較的多いか。 他社提案と比較し、最も工数が多い・・・10点 他社提案より比較的工数が多い・・・5点 他社提案より比較的工数が少ない・・・3点 他社と比較して最も工数が少ない・・・0点			
								10	・アーキテクチャ（パッケージ、フレームワーク）が適切に提案されているか。 利用するアーキテクチャの選定の客観的根拠が明示されている、かつ、そのアーキテクチャでの開発実績がある・・・10点 利用するアーキテクチャの選定理由が明確であるが、そのアーキテクチャを利用した開発実績がない・・・3点 利用するアーキテクチャの選定理由が明確でない・・・0点			
		3.4	テスト計画			任意	30	-	10	・テスト実施のための計画（テスト実施スケジュール、テスト方法、テスト観点、各テストで実施する範囲）が明確に記載されており、内容が妥当か。 テスト種類やテスト範囲や工数、具体的なテスト方法が明確に定義されており、品質担保のために必要な観点が網羅されている、かつ、効率化するためのも検討されている・・・10点 テスト種類やテスト範囲が明確に定義されており、品質担保のために必要な観点が網羅されているが、テスト実施方法や効率化の工夫が十分に検討されていない・・・5点 テスト種類やテスト範囲が明確に定義されているが、テスト観点到に漏れがある・・・3点 テスト種類の定義、テスト範囲があいまい、または定義がない・・・0点		
								-	10	・テスト実施に充てられている工数が妥当か 他社提案と比較し、最もテスト工数が多い・・・10点 他社提案より比較的テスト工数が多い・・・7点 他社提案より比較的テスト工数が少ない・・・4点 他社と比較して最もテスト工数が少ない・・・0点		
								-	10	・テスト効率化のためのツールなどが適切に提案されているか。 テストの自動化の提案やテスト仕様書様式の提案があり、実効性が認められる・・・10点 テストの自動化の提案やテスト仕様書様式の提案があるが、運用実績がないなど実効性が確認できない・・・5点 テストの自動化やテスト仕様書様式のいずれかの提案がない・・・3点 テストの自動化やテスト仕様書様式のいずれも提案がない・・・0点		
		3.5	文書作成計画			必須	5	5	-	・ドキュメント作成の計画が明確に記載されていること。 作成するドキュメントが明確に記載されていること。 規定工数内でのドキュメント作成の提案がある・・・5点 提案がない、または規定以上の工数を割いている・・・0点		
		小計						120	10	110		
4	改善提案の評価											

第 7 号様式 技術提案書評価表

タブレットを利用したきずな再生・強化事業（開発・コミュニケーション系）

提案書の目次												
項番	大項目	項番	中項目	項番	小項目	評価区分	小計	基礎点	加点	評価基準	提案書頁番号	
		4.1	UI改善			任意	20	-	20	・追加的な提案が事業目的・KPI達成のための提案になっているか。 ・町が見落としている、あるいは、実現性の低い仕様について、追加、改善提案はあるか。	左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性、効果も高いと判断される・・・20点 左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性や効果は比較的低いと判断される・・・10点 左記いずれかに合致する提案があるが、提案された工数内で実現できない・・・5点 提案がない・・・0点	
		4.2	アーキテクチャ改善			任意	20	-	20	・追加的な提案が事業目的・KPI達成のための提案になっているか。 ・町が見落としている、あるいは、実現性の低い仕様について、追加、改善提案はあるか。	左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性、効果も高いと判断される・・・20点 左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性や効果は比較的低いと判断される・・・10点 左記いずれかに合致する提案があるが、提案された工数内で実現できない・・・5点 提案がない・・・0点	
		小計						40	0	40		
								300	25	275		